

美容機能性素材の探索と生産及びその利用に関する研究（H26～30）

研究の目的

県内企業における化粧品分野での発展と新規参入を支援するために、県産農林水産資源から皮膚老化防止等の美容効果を有する素材を探索する。また、県産素材を活用した化粧品の開発において乳化条件等処方最適化を図り、シャンプーやクリーム等へ応用する。

背景等

弱い県内の美容産業基盤

OEM料・ノウハウ
県外流出

【参考】化粧品市場規模

素材 1,600億円
製品 23,000億円
(汎用品と高級品の二極化)

青森の豊富な農林水産物

① 潜在する美容機能の探索

素材化

天然の美容素材

② 県産素材の機能を活かす
乳化等の処方技術

研究内容等

① 付加価値の高い県産化粧品・美容食品の開発

- 県産材料収集と保管・抽出処理
- 培養細胞による美容機能性評価系の構築
- 保湿効果や老化防止等の美容機能の探索
- 動物実験による美容機能の実証
- 美容機能性素材の科学的根拠の整理とデータベース構築

② 県産素材処方の確立と県内企業支援

- 県産素材を添加した化粧品製造の基本処方の検討
- 処方を応用した実用規模での製造実証
- 県内企業に対する支援

波及効果

- 他県産素材との差別化と競争力強化
- 評価した素材の価格上昇
- 共同研究等による自前の生産と処方の技術

素材と技術（知識）を確保した
県内企業の優位な展開

内(食品)と外(化粧品)からの美容に向けた高付加価値商品

県内の美容産業に対する
素材化・製剤・製造・販売の一連を支援

県内企業の化粧品分野での発展と新規参入